

令和6年9月25日

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保 育
事業所名	レイモンド東矢倉保育園
代表者氏名（管理者）	園 長 西塔 由佳
法人名	社会福祉法人 檸檬会
定員（利用人数）	80名（87名）
施設・事業所所在地	滋賀県草津市東矢倉1-5-18
T E L	077-516-2850
F A X	077-516-2851
電子メール	higashiyagura@lemonkai.or.jp

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	令和6年9月6日と9月18日

○ 総合評価

社会福祉法人「檸檬会」は、保育分野に限れば関東圏から沖縄まで60を超える保育園・こども園・小規模保育所を運営し、法人ビジョン「カラフルな○ △ □が、凹凸 ある世界で躍動する、ソーシャルインクルージョンの実現」を掲げ、障がい、性別・年代・国籍などに関係なく自分らしく生きる権利が守られ、誰もが受容される社会ソーシャルインクルージョンを実現する活動を続けています。

滋賀県でも保育園4カ所、こども園6カ所、小規模保育所6カ所、プリスクール1カ所、児童クラブ4カ所を運営しています。その基本理念は、短期的な結果を求めるのではなく、全ての子どもたちに、生涯消えることのない『生きる力』である「3つの心」を育てることをめざしています。

① 「人・命を愛する心」

～人・命を慈しむ、思いやりの心を育むこと～

② 「自然と共に生きる心」

～環境にしなやかに対応し、自然とともに生きる心を育むこと～

③ 「想像（創造）する心」

～想像し創造する活動をとおして、未来を切り拓く力を育むこと～

当園の本年度施設目標：施設の健全運営（利用者確保・職員の定着・財務面の健全化）の持続と皆（子ども・パートナーズ・地域の方々）が集う愛される場づくり、以下のような分かりやすい信条を作成しています。

～東矢倉の信条～

ひ：ひとりじゃないよ

が：みんなが主役

し：失敗してもいいじゃないか

や：やることに意味があるんだよ

ぐ：goodな強みを見つけ合い

ら：信頼し合える大家族

当保育園は2019年8月1日スタートしました。国道1号線と京滋バイパス線の分岐点西側に設置されていて、園庭の広さを含め豊かな自然に恵まれているとは言い難い条件で当園の強みである探求型の保育や人的環境で科学する心を豊かに育てています。施設長は本部の法人理念とその活動に従って、保育園の活動にこの本質を加えようと懸命に努力をしており、子ども達や保護者からも信頼を受けていることが保護者アンケートでも伺えます。

今回の保護者アンケートの結果で保護者や児童が満足している項目を%で並べると以下の通りとなります。（回収率は86%でした。下記回答は満足している方の%です）

・個人情報の取り扱い	92%
・お子さんは当園で大切にされていますか	95%
・あなたやあなたのお子さんのプライバシーが守られていますか	88%
・話しやすい雰囲気や態度ですか	89%
・清潔で、子どもが落ち着いて過ごせる環境ですか	88%
・豊かな感性を育む活動・遊び	93%
・保育中の発熱や体調不良・ケガ等への対応と保護者への連絡	88%
・給食や食育に関する取組	99%
・保育の意図や保育内容について、園だより等での説明	88%
・お子さんは喜んで当園に行きますか	88%
・総合満足度は	93%

コロナ禍の影響からようやく5類にされ活動しようとする、関東ではコロナの新種菌が発生し8月中旬にはピークになる予報など、完全フリー活動が許されないところがありますが、上記アンケート結果が示すように保護者の信頼度は満点に近い状態にあります。この保護者と今まで以上にコミュニケーションを高めての協力の中から、子どもたちの笑顔が更に増え、地域の皆さんとも楽しく交流し、地域に必要となる施設となるよう施設長をトップに全職員が一致して努力している施設であります。

○ 特に評価の高い点

1、食事を楽しみ食育に貢献している

まず第一に取り上げるポイントは保護者アンケートで「給食や食育に関する取組に」に関して満足している方が99%であることが、本園の努力を証明しています。子ども達の主体性を活かして関係するすべての活動がそのベースになっています。ピーマンの苗の観察から始まる野菜栽培、保育室の窓の外に大型プランターを置いてキュウリ、トマト、オクラ、トウモロコシ、青じそ等が育てる過程で、タキイ種苗さんから専門家を来てもらって、育て方や世界中の野菜の話まで展開し、それぞれの子ども達の心に「科学する心」が芽生えて来て、自分達の育てた野菜を頂くことから、探求心も膨らみ、持続可能な社会の担い手となる子ども達に育てゆくよう、一人ひとりの個性や工夫などが生かせるよう全職員が頑張っています。献立メニューは本部で統一したのですが、経験豊富な調理師を中心に栄養士も加わって、子ども達との交流から、食事の場へ出向き注意深く観察し残食などを調べ、作る量や味付けを工夫して子ども達に喜んでもらえる様努めています。保護者への情報提供も工夫され

丁寧に報告されていますが、子ども達の自宅での食事に関する報告も大きく関係しているものと感じられます。

2. 行き届いた健康管理と安全・安心への環境作り

当園にとって、国道1号線・京滋バイパス線の分岐点西側に設立されている結果、歩いて外に出る事は、危険そのものでしかなく、保育の最重要施策は「子どもの健康管理と安全・安心の環境作り」といっても過言ではありません。昨年秋にベテランの看護師入園が実現し、健康管理。安心安全環境づくりに丁寧な情報発信や説明、研修に頑張っています。下記アンケート調査結果が、証明しています。

保育中の発熱や体調不良・ケガ等への対応と保護者への連絡 88%

話しやすい雰囲気や態度ですか 89%

3. 園内ソーシャルインクルージョンの実現に向かって

当園はまさに、カラフルな^ま○^せ△^い□が集っています。目の色や肌の色の違うネイティブの英語の先生と子ども達や支援の必要な子どもも数多く受け入れ、職員も一人ひとりの強みを活かした組織づくりを行い、園内ソーシャルインクルージョンの実現を目指しています。分け隔てなくみんな楽しく過ごす、と言うのは簡単ですが、一人ひとりの個性と向き合っている保育士さんの個別支援や素晴らしい工夫には感動いたしました。

○ 改善を求められる点

1. 地域との関りは確かな一歩を踏み出しました。

開園直後にコロナ禍に見舞われ活動に制約があったり、立地の問題もあって、地域とのつながりは低調なまま推移してきましたが、ここに来て漸く前進しました。8月末の「夏まつり」には地域の方十数名の参加を見ています。9月中旬に開催した「敬老の集い」では9名の方が参加され子ども達と楽しい時間を過ごして頂きました。まだまだ少ない数ですが一歩ずつ着実に進められるものと期待します。

第三者評価結果に対する事業者のコメント

開園して間もなくコロナウイルスが蔓延する中、行政監査はここ数年書類監査となっていて、今年度、久々の実地監査前にこのような機会をもて、当園を様々なデータから客観視する機会をもてたことに感謝したい。

沢山の園を評価されている専門機関（ナルクさん）ならではの切り口で当園の強みと弱みを的確にかつ丁寧に作業で抽出していただいた。ここに記載以外にも沢山の称賛とご指導を賜り、とても有意義な時間をもつことが出来ました。今後は子育ての拠点となる地域に愛される場所を目指して、創意工夫を凝らしていきたいと思っております。また、評価いただいた通り、法人ビジョンの実現に向けて、まずは園内でビジョン実現を志し、当園に集う皆（パートナーズ、子ども、保護者様、地域の方等ゲスト）が幸せを感じられる居場所でありたいと考えてお

ります。相手の弱みにフォーカスせず、一人ひとりの強みを活かした組織づくりは当園の強みとし、今後ますます磨きをかけていく所存でございます。

最後に、精度の高いデータを基に第三者評価を受審出来ましたことをアンケートにご協力いただきました保護者様に感謝すると共に、より良い保育の質の向上に努めて参ります。